

憩いの庭

北新潟キリスト教会新聞 10
2017年11月26日(日)発行(季刊)

「主は私の羊飼い。
主は私を緑の牧場に伏させ、
いこいの水のほとりに伴われます。」
(旧約聖書・詩篇23篇1～2節)

「クリスマスプレゼント」 牧師・原山康伸

今から2000年ほど前、ユダヤの国ベツレヘムの村里で救い主イエス様がお生まれになった時、星に導かれて東の国からやってきた博士たちは、幼子イエス様に心からのプレゼントをささげました。遠い国からはるばる携えてきた黄金、乳香、没薬という当時の最も高価な贈り物をおささげしました。それが、クリスマスプレゼントの始まりです。聖書に、「その星を見て、彼らはこの上もなく喜んだ」(マタイの福音書2章10節)と記されていますが、その夜、ひときわ明るく輝く星が、東方の博士たちを幼子イエス様のもとに導いたのです。その明るく輝く星について、1603年12月にドイツの天文学者ケプラーが望遠鏡で、木星と土星が魚座の中で重なり合い一つの大きな星のようになるのを観測しました。ケプラーが計算を進めていったところ、紀元前7年にも土星と木星が魚座の中で重なり合ったことが分かりました。今日では、コンピューターやプラネタリウムでその正確な日時を確認することが出来ますが、その星の輝きは想像を絶するものであったことでしょう。

博士たちは幼子イエス様に、当時の最も高価な贈り物を愛をこめてささげました。私たちは人に何かを差し上げる場合、相手の方にとって何が一番ふさわしいかと思い巡らしながら、プレゼントの品を決めることと思います。今から100年ほど前のアメリカの短編小説家オー・ヘンリーに、「賢者の贈り物」という作品があるのをご存じでしょう。ある貧しい一組の若い夫婦が、毎年クリスマスイブにお互いの心を込めたプレゼントを交換するのを常としていました。その年、彼らの貧しい財布にはプレゼントを買うお金がありませんでした。そこで夫は、祖父の代から譲り受けた金時計を売って、妻のために美し



いクシを買うことにしました。一方妻は、夫がその金時計に鎖が無いことで不自由しているのを知っていました。そこで彼女は自分の長い髪を切って売り、そのお金で金の鎖を買ったのでした。やがてクリスマスイブがやってきました。ふたりが贈り物の包みを開けたとき、「あっ」と驚きとも溜息ともつかない声が洩れたのです。ふたりは何と愚かなことをしたのでしょうか。しかし、オー・ヘンリーは、実はそれが最も素晴らしい「賢者の贈り物」なのだと言いたかったのでした。それは、ふたりの犠牲の伴う愛がもたらした、お金で買うことのできない美しい価値あるプレゼントだったということです。

ところで、クリスマスは、世界中で最も価値ある愛の贈り物が神さまから人類に贈られた記念すべき日であることをご存知でしょうか。天の父なる神様は深い御計画をもって、ひとり子イエス様をこの地上にお与えくださいました。実に神のひとり子イエス様こそ、この世界で最も価値あるプレゼント、神様が愛の犠牲を払って与えてくださった最上の贈り物なのです。クリスマスの時節、どうぞあなたも教会に足を運んで最上の愛の贈り物をお確かめ下さい。

クリスマス教会で

- 12月10日(日) 子どもクリスマス会
午後2:00～3:30
- 12月17日(日) クリスマスコンサート
午後2:00～3:30
出演: 日比野則彦・愛子、AYAKI
- 12月23日(土) キャンドルサービス
午後7:00～8:00
特別さんび: 日比野愛子
- 12月24日(日) クリスマス礼拝
午前10:30～12:00

「単純に素直に受け入れて」 教会員 鈴木美恵子

「人生は空しい。人は死んだらどうなるのだろう。死が怖い。死に向かって生きているとしたら、何のために勉強し、生きていくのか？人は裏切る。人は信じられない。」中学2年生の頃の私の悩みでした。

敗戦後の貧しい時代、松浜に生まれ育った生家は生活に根差している熱心な日蓮宗でした。祖父母、両親の信仰の影響で、小学生の頃お寺で見た地獄絵図は恐ろしく罪に対して戒めとなりました。

ところが小学5年生の時「もっと小遣いがほしい」と誘惑に負けて、家のお金を少しずつ盗んだり、中学生になり母への反抗心や弱い自分に苦しみ、仏壇の日蓮上人様に助けを求めました。決意書を紙に書いて台座に挟み、短いお経を毎日唱えました。が、結果は敗北感だけ、冒頭の疑問と自己嫌悪に陥るばかり・・・。

一方小、中学生の頃は表面上は友達と仲良く楽しく過ごしました。卒業以来、昔にタイムスリップする同期会は懐かしく、たびたび持たれ今年も2年ぶりに31人の参加者でした。

『空の空。空の空。すべては空。』（聖書）人知れずかかえていた私の人生問題に光が差したのは高校1年の春。当時松浜に教会はなく、アメリカ人宣教師が民家の部屋を借りて開く集会で、友達に誘われて初めて聞く聖書の話はちんぷんかんぷんでした。

あるとき天幕集会で、「唯一^{まこと}の神様は人類を愛し、すべての人間を罪から救うために神のひとり子イエスを世に誕生させ(クリスマス)、罪の身代わりとして十字架の死を遂げさせたのです。しかし、全能の神はそのイエスを三日目に甦らせて、今も生きて働いておられるのです。この事実を信じる人は救われます」と聞き、私は単純に素直に受け入れました。

それ以来の求道生活で聖歌に心惹かれ、聖書を教えてくださる先生方や先輩クリスチ안의信仰姿勢の真実に触れて、倅いたいと思いました。何よりもイエス様に、人に仕えるために来られた

その足跡に倅いたいと思い、高校卒業後お手伝いさんとして2年間、奈良のクリスチャン教師ご夫妻の1歳2か月の坊やお世話をさせていただきました。何も知らない私に大切な我が子を預けてくださった信頼は、信仰から来る愛だったと、後になってわかりました。その後、新潟地震後に宣教師の先生方の祈りで創立されたさんび幼稚園勤務。同じ神様に向かう人と結婚。5人の子宝に恵まれました。母とも聖書の言葉と祈りの中で仲良く好きになり、沢山お世話になりました。

あの時から56年。死は天国への希望、大病した時不思議と平安が与えられ、生かされている喜びの中で、愛なる神さまは『すべてのことを相働かせて最善になし給う』と信頼できます幸せ。この良い知らせを仲間、友人知人にお伝えしたいと祈る毎日に感謝しています。『いつも喜んで下さい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。』

(聖書)

北新潟キリスト教会の集会案内(毎週)

主日礼拝：日曜日 午前10：30～12：00
 教会学校：日曜日 午前9：30～10：00
 聖書の学びと祈り会：水曜日 午後7：30～9：00
 聖書を読む会：木曜日 午前10：30～12：00
 他に聖句書道同好会、俳句同好会、ほっと会(火曜日午前10時、月1回)こひつじ会(未就園児とお母さん、第2金曜日)



〒950 - 3112 新潟市北区太夫浜2040 1

日本同盟基督教団 北新潟キリスト教会
牧師・原山康伸

025(259)4491 (旧松浜教会、附属さんび園同窓会事務所)
<ホームページ> <http://www.kitaniigata-church.com>

当教会は、聖書を大切にするプロテスタント教会であり、エホバの証人(ものみの塔)や統一教会、モルモン教などとは関係がありません。安心してお出かけください。